

みずほCustomer Desk Report 2016/04/05 号(As of 2016/04/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	111.47
TKY 9:00AM	111.69	1.1395	127.28	0.9588	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.80	1.1412	127.33	0.9615	1.4224	0.7666
SYD-NY Low	111.10	1.1357	126.46	0.9572	1.4321	0.7677
NY 5:00 PM	111.37	1.1390	126.80	0.9585	1.4192	0.7598
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.14/10.585	△25RR	0.715	Yen Call Over		
NY DOW	17,737.00	▲ 55.75	債券市場	日本2年債	-0.2250	▲0.2bp
NASDAQ	4,891.80	▲ 22.75		日本10年債	-0.0750	▲1.6bp
S&P	2,066.13	▲ 6.65		米国2年債	0.7361	1.4bp
日経平均	16,123.27	▲ 40.89		米国5年債	1.2047	▲1.0bp
TOPIX	1,302.71	1.31		米国10年債	1.7618	▲0.9bp
シカゴ日経先物	16,150	▲60.00		独10年債	0.1310	▲0.3bp
ロンドンFT	6,164.72	18.67		英10年債	1.4290	2.0bp
DAX	9,822.08	27.44		豪10年債	2.4650	▲6.1bp
ハンセン指数	-	-	為替市況	USD/CNH	6.4720	0.0006
上海総合	-	-		ドルインデックス	94.58	▲0.04
USDJPY 3M Vol	10.08	0.15%	商品市況	CRB指数	165.791	▲2.24
USDJPY 6M Vol	9.99	0.22%		NY金	1,219.300	▲4.20
EURJPY 3M Vol	10.51	0.08%		WTI	35.700	▲1.09
EURJPY 6M Vol	10.44	0.09%		Dubai Spot	34.78	▲1.00

東京	週末明けのドル円はナイト時間に高値111.80をつけ、東京時間111.69レベルでオープン。前週末に発表された米3月雇用統計は堅調な結果であったが、4月の米利上げ期待は高まらず、ドル売りが優勢となる中、ドル円も下落基調を継続。日経平均はマイナス圏で寄り付き、その後すぐにプラス圏へ浮上するが、中国や香港が休場となる中で方向感に乏しい展開となる中、ドル円は一時111.32まで下落。午後に入っても日経平均がマイナス圏で推移し、ドル円も特段材料に欠ける中で111円台前半での小動きとなり、結局111.38レベルで海外市場へ渡った(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は方向感の掴み難い展開となった。朝方は111.38レベルでオープン、イランのサンギヤネ石油相は「経済制裁前の水準に達するまで石油の生産・輸出を拡大する」と表明。増産凍結に向けた主要産油国の足並みが乱れ原油が売られた。石油関連企業の業績悪化懸念が強まり安全通貨とされる円が買われ安値111.37を付けた。しかし、その後は米債利回りの上昇につられ111.74まで値を戻し111.61レベルにてNYへ渡った。ユーロドルは動意薄。1.1390レベルでオープン。プラートECB理事は「ECB、必要なら追加緩和の用意」と言明したため1.1357へ小緩んだ。2月のユーロ圏失業率は10.3%(予想10.3%、前回10.4%)、PPIは前年比-4.2%(-4.0%、-3.0%)と発表されたが市場への影響は限定的となり、1.1375レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー00531 444 179 西海)
ニューヨーク	週末明けNYのドル円は111.61レベルでオープン。朝方発表された製造業受注や雇用関連指標が予想を下回ったことから、ドル売りが優勢となったほか、ダウの下落が嫌気されて円買いが強まり、ドル円は111.30水準へ下落した。その後、ロンドン・フィクシングにかけて、ドル円の売りに拍車かかり、111円割れを再び試す展開となり一時111.12まで下落した。午後に入り、ダウは小幅安ではあったが軟調な推移が続く中、ドル売りの流れは止まらず、ドル円は111.10まで下値を伸ばした。終盤、ドル円は小幅に戻すも動意は薄く、111.37レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1375レベルでNYオープン。朝方、統落していた原油が反発に転じると、ユーロや英ポンドに買い戻しが急速に入り、ユーロドルは1.1410まで上昇した。その後、円高の動きが強まる中、ユーロドルはユーロ円が下げる動きに追従し一時1.1373まで軟化したものの、ユーロ自体は底堅い推移を続け下げ止まった。午後に入り、全般的に材料出尽くし感が漂い小動きだったが、米株安が嫌気されドル売り優勢となる中、ユーロドルは1.1390レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 田中・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月4日	10:30	豪 小売売上高	2月 0.0%	0.4%
	10:30	豪 建設許可件数(前月比/前年比)	2月 3.1%/~9.0%	2.5%/~9.1%
	17:30	欧 プラートECB理事、講演	-	-
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月 -0.7%/~4.2%	-0.5%/~4.0%
	18:00	欧 失業率	2月 10.3%	10.3%
	22:30	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁、講演	-	-
	23:00	米 製造業受注指数	2月 -1.7%	-1.7%
	23:00	米 耐久財受注/除輸送用機器・確報値	2月 -3.0%/~1.3%	-2.8%/~1.0%

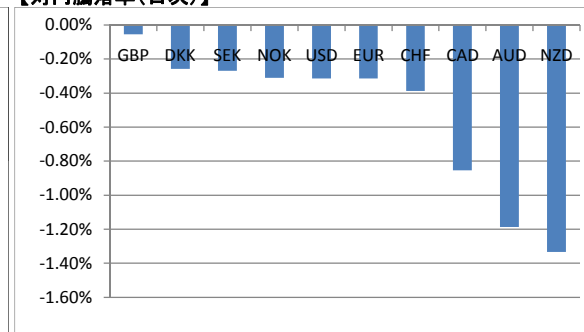
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月5日	10:30	豪 貿易収支	2月 -AUD2,500m	-AUD2,937m
	13:30	豪 RBAキャッツシュレート	4月 2.00%	2.00%
	14:00	米 エ/バンス・シカゴ連銀総裁、講演	-	-
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	2月 0.3%/2.2%	-0.1%/1.1%
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	2月 0.0%/1.9%	0.4%/2.0%
	21:30	米 貿易収支	2月 -\$46.2b	-\$45.7b
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	3月 54.2	53.4
4月6日	1:15	独 ショイブレ独財務相、講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50~111.70	1.1320~1.1420	126.00~127.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上値の重さが目立つ展開となった。本日も引き続き上値重い推移を予想する。米株が冴えない動きとなる等、リスク回避姿勢が強まる中、本日の日経平均株価も上値重い推移となると、ドル円の重石となろう。リスクセンチメントが悪化する中、本日発表のISM非製造業景況指数が弱い結果となると111円割れを試す可能性もあり注意が必要だ。米利上げペースが緩慢なものとなることが予想される中、ドル円は上値重い推移が継続しそうだ。